

令和7年度 和歌山市立加太小学校 学校運営計画書（スクールプラン）

校長名 寺尾 憲和

作成日 令和7年5月8日

和歌山市学校教育目標

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- ・基礎基本を大切に、確かな学力の定着に向けて取組を継続して欲しい
- ・少人数の利点を最大限に生かし、「児童主体で行う授業の推進」を進めて欲しい
- ・地域と協力した活動を継続し、特色ある教育をして欲しい

【学校教育目標】

最後までよく考え、心と体の健康を養い、みんなと共によりよく生きる子供の育成

【めざす児童像】

- ① 思いやりのある子（心の健康）
- ② かんがえる子（最後までよく考える）
- ③ 協力する子（みんなと共によりよく生きる）
- ④ 自らをきたえる子（知・徳・体の育成）

前年度の学校評価

- 加太小学校の特色を生かした取組を継続して欲しい。
- HP等の情報発信は学校の様子を知らせることに有効。
- 地域の特色を生かした教育活動に取り組んでいると感じる。今後も計画的に取組で欲しい。
- 学校と保護者、学校と地域の連携は良くできている。

児童（生徒）の実態

- 楽しい学校生活を送っており、周りとの協力できる児童も多い。
- 自分から進んで課題を見つけ、粘り強く取り組む力をつけていきたい。
- 「書くこと」と「家庭学習の定着」について、さらに向上させていく必要がある

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな学力の定着
- ◎児童が主体的に学びあう授業づくり
- ◎家庭学習の定着
- ◎読書活動の推進

具体的な取組

- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」の徹底を図る
- 「学力アップ」の時間を活用し、基礎学力の向上・定着を図る
- 教員の特性を生かしたカリキュラム構成を行い、多くの教員が関わり児童の学力向上に取り組む
- 「家庭学習の手引き」を配布し、保護者への啓発を行う
- 朝の読書タイムを中心にして、図書室等を積極的に活用して、読書する習慣をつけていく

指標

- ・全国学力・学習状況調査、県学習到達度調査で、平均以上をめざす
- ・「毎日の授業がよくわかる、ほとんどわかる」と答えた児童の割合について、80%以上をめざす

豊かな心の育成

- ◎地域の豊かな自然環境を愛し、保全する精神の育成
- ◎道徳教育を柱とした教育活動の充実
- ◎自他ともに大切にする教育活動の実践
- ◎仲間づくり活動の実施

- 地域素材を生かした学習によって、帰属意識を養う
- 「特別の教科 道徳」を柱に、児童がしっかり考え話し合う授業と体験を通して道徳心を養う。
- いじめアンケートを定期的実施し、いじめの未然防止・早期発見に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険について、保護者とともに学ぶ機会をもつ
- 行事において、主体的に児童が関わり自分たちで作り上げる機会をもつ

- ・学校が「楽しい」と感じている児童の割合について90%以上をめざす
- ・「あいさつ」を自分から進んでできる児童について90%以上をめざす
- ・いじめの解消100%をめざす

健やかな体の育成

- ◎基本的な生活習慣の確立
- ◎体力向上の推進
- ◎危機回避能力の育成

- 「早寝・早起き・朝ごはん」を推奨する
- スポーツテストの結果を踏まえながら、休憩時間等の運動場での外遊びを推奨していく
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する
- 幼・小・中・地域・関連機関と連携した地震・津波による避難訓練を実施する

- ・毎日、朝ごはんを食べてくる児童について95%以上をめざす
- ・体力テストの平均値を、昨年度以上の数値をめざす

地域とともにある学校

- ◎地域の教育資源や人材を活用しながら交流活動を継続
- ◎幼・小・中一貫教育の推進
- ◎ホームページの充実と、学校だよりや掲示板を活用した情報発信

- 地域の自然や文化を積極的に取り入れた教育を展開する
- 地域や学習に関連した方々をゲストティーチャーとして招くなどして、地域学習を充実させる
- 幼・小・中連携検討委員会を定期的に行い、一貫教育の充実を図る
- 各種便りやホームページ・学校だよりや掲示板などを通して、積極的に情報を発信していくようにする

- ・「学校の様子がよくわかった」と感じている保護者の割合について80%以上をめざす
- ・地域への情報発信が十分行えた（自治会等、地域の方の意見）

◎：特に重点的に取り組むこと